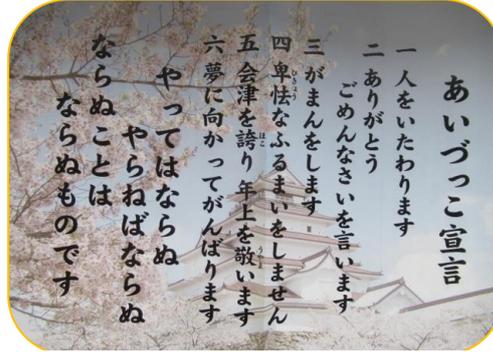


# 修学旅行 1日目

(11月19日)



日新館前にてパシャ！



↑会津市内の学校の教室にはってある「あいづっこ宣言」。参考になります。



## 【五色沼にて】

好天でさわやかな気候だったので、水の色も景色も素晴らしかったです。ハート型の模様の鯉を見ることができ、子どもたちも大興奮でした。

## 【日新館～野口英世記念館】

学年の職員が、かねてから希望していた「座禅体験」。毎日の「修行」のことも教えてもらいました。1日3キロのぞうきん掛け、40分×数回の座禅、お経…。座禅では自ら叩いてもらう子どもがたくさんいました。野口さんのことは、事前にしっかりと学習していて、ガイドさんも驚いていました。

学習の場を県外に移し、普段できないことをたくさん学んできました。特に1日目は天候にも恵まれました。コロナ禍ということもあり活動や食事の制限はありましたが、以下のことを体験・見学してきました。

- \* 赤べこ絵付け体験 \* 飯盛山見学 \* 五色沼見学
- \* 日新館座禅体験・講話 \* 野口英世記念館見学
- \* 会津若松市内班別活動 \* 慶山焼の体験
- \* バスの中(ガイドさんの話、レク係が計画したゲーム等)

## 【赤べこ】の話

今から1200年位前のこと。

あるお坊さんが、会津に寺院を作ろうと思った時に、その材料を運ぶ際に黙々と働く「赤べこ」がいた。

その寺院が完成した夜、この赤べこが堂前で一夜のうちに石化し、寺院の守り神になった。その伝説に基づき、赤べこを供養する意味で、この郷土玩具張子が作られるようになった。

その後、会津地方に厄病(天然痘)が流行した時、この赤べこを持っていた子どもたちは、不思議とその病魔にうつることがなかったので、後々、病気除けの呪いとして、子どもやその家族に贈るようになったとのこと…。

この文章は、手作り体験資料先の文書を参考に、私がまとめたものです。

私も、校長室に、今回の「赤べこ」を置いておこうと思います(校長室には3頭目となりました)。

叩いてもらいたい人はおるかな？  
希望する人は、合掌して頭を左側に傾けて待って下さい。



## 什のおきて



11月とは思えない穏やかな日差しと気温。まさに小春日和。五色沼もキラキラと輝いていました。

【ホテルにて】まずは美味しい夕食。その後、赤べこの絵付け体験。最後に、温泉で疲れをとって、就寝ZZZ…。十時に寝た子は、何人いたでしょうか…。